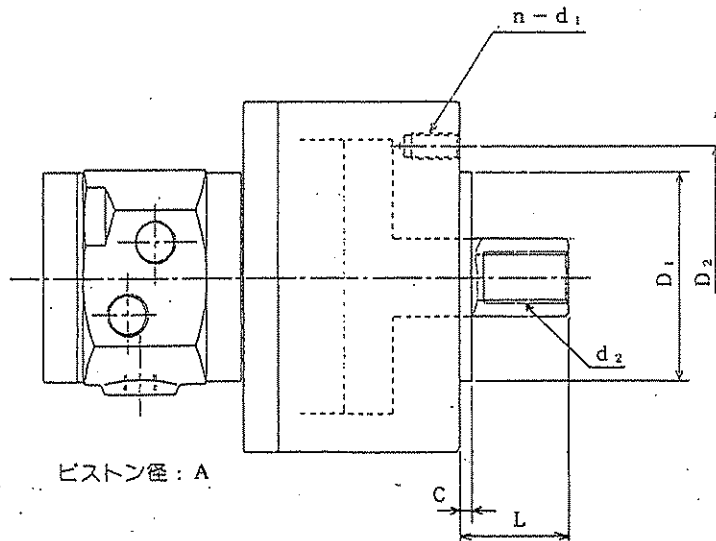


### 中実回転油圧シリンダの取付寸法

1. 適用範囲 この規格は、工作機械に用いる中実回転油圧シリンダの取付部寸法について規定する。
2. 用語の定義 この規格で用いる用語の定義は、次のとおりとする。  
(1) 中実回転油圧シリンダ 油圧導入口は固定され、シリンダ部はアダプタプレートの中継し、工作機械の主軸に取付け、油圧によりパワーチャックを駆動する装置で、中心に貫通穴の無いシリンダ。
3. 寸法 中実回転油圧シリンダの取付部寸法は、次のとおりとする。



単位mm

A ピストン径	$D_1$ <sup>h6</sup>	C	$D_2$ <sup>±0.2</sup>	$d_2$ <sup>(1)</sup>	最大 L	最小 <sup>(2)</sup> $n-d_1$
70~100 <sup>未測</sup>	65	5	90	M16~M20	46	6-M6
100~125 <sup>未測</sup>	80	5	100	M20~M24	52	6-M10
125~140 <sup>未測</sup>	110	5	130	M24~M30	54	6-M12
140~170 <sup>未測</sup>	110	5	130	M30~M36	56	6-M12
170~200	120	5	145	~M36	69	6-M16

注<sup>(1)</sup> ピストン作動推力に従い、メーカー責任において決定可とする。

注<sup>(2)</sup> ボルト本数は、シリンダ材質により変更可とする。